

文  
路  
叢

			二	和
			三	書
			二	門
一	六	三	二	
〇	八	二	四	
册	架	函	號	類

165

庫	文	閣	內	
一		二		和
五		三		書
函		二		
二	一	三		
架	册	四		
		號		類

內閣文庫	
番號	和 23234
冊數	10( 1)
函號	150 166

記録  
十六ノ一

150-166

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 cm

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale

G  
Y  
M

© Kodak, 2007 TM: Kodak



Faint, illegible handwritten text in vertical columns on the left page of an open book. The text is written in a cursive style on aged, yellowed paper.

Blank or nearly blank right page of an open book, showing significant wrinkling and discoloration of the aged paper. A small, illegible mark is visible near the top center.

100-100

文露叢卷之一

宝永元年甲申

元禄十七年三月晦日改元

淺草文庫

記録御用

一 正月元日年始之御規式如例

騷カシカリシ年暮テ新玉ノ春ニ成ケレト江戸

中ノ普請繁ク地震年ヲ越テ止サレハ年礼ニ往

来ノ人モ稀ナレハ行末イカニ成行シト思ヒシ

ニ鴨ノ長明カ云シ如ク日ニ五六度ニ成リ一日

ニ一度又ハ日マセニ成段々薄クナ行五六日

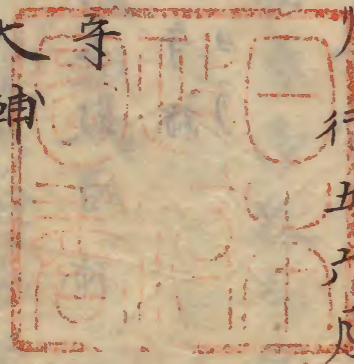
ノ比ニナリイツトナク止侍リケリ

一同四日御名代被仰付

伊勢 中条山城守 代 富山下總守

京都 呂川豊前守 代 富山民部大輔

日光十七日 織田能登守 代 戸田中務大輔



同廿日 久世出雲守代土井甲斐守

一 同 十一日 御役替

御書院番頭 大久保豊前守 酒井壹政守 跡

御小姓組番頭 阿部壹政守 豊前守 跡 中奥ヨリ

御鑓奉行 土屋市之丞

御持頭 石原市左衛門 市之丞 跡

小十人番頭 平岡市右衛門 渡辺 弥之助 跡

御使番 戸田 七内 村瀬 伊左衛門

渥美 九郎 兵衛

一 十三日 被仰渡 大岡治右衛門

石原市左衛門元組 与力十騎之内 四人 并 井戸對

馬守組 林久兵衛 卜都合 五人 其方組 入其方組

与力 向後十騎 成候間 可被得其意候

近藤源左衛門 六卿主馬

大岡治右衛門組 与力 石原市左衛門元組 之与

力十騎之内 四人 并 井戸對馬守組 林久兵衛 卜都

合五人 今度入向後治右衛門組 与力十騎 成候

間 被得其意 可被引渡候

一 十五日 御役替 御子頭 寄合ヨリ 中川勘三郎

大納戸頭 平岡市右衛門 跡 松崎善兵衛

紅葉山 御社参之時 御清之次第

一 市社系前日 七日 時 市社系前日 并 市社系前日

方 火改了 市社系前日 并 市社系前日

一 惣所 取并 惣所 取并 惣所 取并

一 忌指 若血 忌 若死 穢 若十六日 普之 時 前

退如 十七日 還御 以後 登 城 不仕





又去所設勅名若也  
一鳥歎子生也穰死也穢之也  
供奉又去所設勅名若也

食穢之覺

- 一牛馬 百五十日 一豕犬羊豚猪 七十日
- 一雞 五日 但玉子ハ奥ニ同シ
- 一羚羊狼兎狸 五日 一二足食穢五辛ニ同シ
- 一五辛ハ前日暮六時前ヨリ 給申間也

五辛

大蒜 キニン 荖葱 カクソウ 韭葱 キク 蘭葱 ラン 興渠 コウキョ  
ヲホヒル ヒトモシ ニラ アサツキ クレンヲモ

一二月朔日 御鏡御頂戴万事 御社参之通 淨請  
一 忌後之者血忌之者死穢之者 淨鏡紅系山へ

納い左右有之而之也  
元禄十七年中正月

御官 御名代御請之書付

毎月十七日

御官 御名代之時御請之次第

一 忌後之者血忌之者死穢之者 十七日 明六時退也  
御名代 御名代 御名代 御名代

一 御名代之者常々火給不中前日暮六時前ヨリ改  
穢穢之忌後血忌死穢之者産穢之婦人月水穢之  
婦人 不召仕 盤洗穢之御名代 御名代 御名代  
暮六時以好不召右ノ西ノ上 穢日産同火也 穢又  
ハ常々火也 穢之 盤洗穢之 御名代  
下 御名代 御名代 御名代 御名代











三百石宛 養安院 武田法印  
謙光院法印 曾谷長順 教原通玄

二百石宛  
百石宛  
五十石宛  
一同廿三日奧小姓被仰付 松平内膳 小出主膳

石垣御普請御手傳被仰付 上秋民部大輔  
同奉行 小出和泉守組 京極主計 内藤越前守組 角南主馬

一同廿七日酒井雅樂頭濱町屋敷之内 五千五百坪差  
上之為代地大塚下屋布近所 二千七百坪願通賜之

一同廿九日 鷲鳥巢拂之御書付 如例年出儿  
二月二日 病氣依願御免 本所奉行 酒井与九郎  
右人跡 北条右近太史組 朽木内記

一同六日 横瀬駿河守京都祭足是 八日冬地震之節  
内侍所 於于信時ノ御神樂御修行御礼 被献物

禁裏江 白縮緬五十卷 御看一種  
仙洞江 白絞綾三十卷 御看一種  
女院江 羽二重 白紅 廿匹 御看一種

旧冬御加増并領面々御書出頂戴  
内藤越前守 曾雖推右衛門 朝比奈木工之助  
杉浦八郎五郎 多田三左衛門

一同八日 當五月 嚴有院殿 廿五回忌御法事奉行  
稻葉丹後守被仰付 宿坊 凌雲院  
一同九日 酒井下野守跡式養子織之助賜之 實西尾隱岐守次男

一同十一日 願之通被仰付  
隱居 松平讚岐守 家督 同式部

加藤遠江守浅草下屋敷被<sub>レ</sub>召上代地濱町雅樂頭上<sub>レ</sub>屋敷之内賜<sub>レ</sub>之

近江美濃伊勢大和辺所々へ江列四十九院辺ヨリ盗賊三百人程手分<sub>レ</sub>テ押込由御領ハ御代官私領

ハ地頭ヨリ可<sub>レ</sub>搦取由被<sub>レ</sub>仰渡

一同十三日上野御法事御用被<sub>レ</sub>仰付

永井伊賀守住心院本多弾正少弼青龍院中山出雲守本覚院大御番組頭土屋山横地半助是深津弥兵衛當春参向公衆衆御馳走人

勅使柳原前大納言高野中納言 亀井隠政守 仙洞使 相良志广守

一云候方より候又多在取外若く是礼番急處ハ

之向後より為<sub>レ</sub>礼事

一系勤因<sub>レ</sub>義侍従以上十万石以上ノ家々以<sub>レ</sub>出礼

一火<sub>レ</sub>麦沙ノ麦ノ麻中より沙役勤ハ儀ノ其心

一云家門迄方以<sub>レ</sub>地乞禮 作付ハ麻中より沙役勤

一沙普徳沙子侍被<sub>レ</sub> 以<sub>レ</sub>其ノ麻中ノ其音物甘唐豆

一又少屋端より地乞右向前<sub>レ</sub>其

一取<sub>レ</sub>内門有<sub>レ</sub>其<sub>レ</sub> 沙成<sub>レ</sub>其音物帯<sub>レ</sub>料理



一同廿二日進物番五人被<sub>二</sub>仰付<sub>一</sub>

松平出羽守願ノ通弟民部少輔養子<sub>二</sub>被<sub>二</sub>仰付<sub>一</sub>

同廿三日御小性<sub>二</sub>小堀大膳被<sub>二</sub>仰付<sub>一</sub>

水野隼人正柳原屋布被<sub>二</sub>召上<sub>一</sub>

大沢右衛門督隣屋布添被<sub>二</sub>下<sub>一</sub>

於本御御弓所屋右引替賜之 甲斐庄喜右衛門

同永井讚岐守 彦坂九兵衛 伊勢平八郎

水野式部 秋田路守組内藤十左衛門 伊波播年組古田兵九郎

一同廿七日跡目被仰付

一同廿八日阿蘭陀人御礼

總目御礼 松平式部

同象來 松平玄蕃 大久保主膳

玉井三郎右衛門 間嶋伊右衛門 戸田次郎兵衛

一 三月二日和泉町ヨリ酉刻出火北風烈亥刻鎮ル

一同四日侍從仕官 松平式部太輔

松平民部大輔取来一万石賜之

公象衆参向

戸田能登守領越後国城頭郡上正善寺村去月十三

日雨降申ノ刻前山鳴動<sub>二</sub>廿所ノ者家ヲ明逃退ル<sub>一</sub>

<sub>二</sub>申ノ刻後ノ山崩掛リ象居不残前ノ川へ押出入<sub>一</sub>

人馬ハ無恙由

一同五日阿蘭陀人御暇

申刻雷一鳴水雨夜<sub>二</sub>入雨降<sub>一</sub>

一同六日公象衆御對顔 九日公象衆御馳走御能

一同十日辰刻本御筋出火巳刻鎮ル

屋布改 北条右近太夫組 細井仇次右衛門跡 設樂善丸衛門

屋布改

坂倉後守組  
瀧川清右衛門跡

阿部甚三郎

去月十九日

玉佐国高知町百二軒燒失

一同十一日神田小柳町味噌屋市郎兵衛土藏二間梁

二十間曰冬地震二痛之今夜四時隣小右衛門卜申

者裏屋假小屋ノ上ハ倒レ掛リ小屋潰レ男女十五

人ノ内十三人死二人ハ半死半生ノ由

一同十二日勅答御暇相湊

戸田能登守領越後国羽羽郡加納村ノ内友金村去

月十九日雨ニテ山長百八十四間横六間崩レ又安

田村用水ノ江横一二間長二百六十間余破押埋由

一同十五日家督御礼松平式部太輔改讚岐守

當五月於上野御法事中所々勤番被仰付

文殊楼牧野駿河守院見明二王門黒門松平主殿頭院普門

中堂表口内藤紀伊守院宝勝同裏口青山播磨守院一葉

屏風坂増山兵部少病氣代保科兵部少院宝龍

車坂安部丹波守院修善清水口酒井石見守院現龍

新清水口堀田豊前守院東園

公家門跡馳走人

勅使轉法輪前右大臣院裝東所伊達左京亮

仙洞使西園寺大納言堀大和守

女院使堀川宰相松平隼人正

着座西洞院前中納言ヲ兼

曼珠院御門跡圓覺院中川因幡守院林松院

梶井御門跡春性院蜂須賀飛騨守院淨田院

本多中務大輔於在所就病氣大切去頃依願奥山謙

德院被遣礼不相亦故帰府又依願淡江松軒被遣今





一 弟五月朔日為之別火燒之 猶も之く中山領  
 分嶺野村より取焼石降葉多しあり大甘中  
 小同二日二日打續大燒仕ハ橋より山中底大  
 燒之 弟二月中折く燒出ル  
 一 弟二月ハ大方日ハ二燒中山就中十日ノ夜以六  
 時前ハ震動い 燒初辰の別火燒仕ハ 可也  
 燒地村ハ破殺為降所ハあり若ハ折あり  
 里中山戸障子ハ 是ハ燒石飛山カヤニ火  
 あり付中山十一日ハ至折十二ニ度ヤケ出ル  
 一 小諸家中ハ一 震動其聞ハ戸障子ハ落く響ル  
 燒地村ハ淺間ハ 二里末奈  
 小諸より 淺間ハ 三里十丁余  
 一同廿五日大坂加番被仰付面々 堀左京亮

石川近江守 堀長門守 京極主殿  
 一同廿八日御交替 御納戸頭 宇都出 上田新四郎  
 西丸御裏門番頭 御廣敷番頭 ヨリ 山田太左衛門  
 本多中務太輔去廿一日於在所卒又嫡吉十郎六歳  
 一同晦日諸大名寄合諸役人服紗小袖淺上下ニテ登  
 城之礼元禄十七年ヲ改寶永ト改元ノ由被仰渡  
 一 四月朔日本多中務卒去ニ付大和川御手傳代被仰  
 付 岡部義濃守 松平左兵衛佐 九鬼大和守  
 一同三日跡目被仰付  
 日光御名代  
 十七日 京極對馬守代 畠山下總守  
 御祭礼奉行松平志广守代 松平宮内少  
 同 松平下野守代 保科兵部少

亡日 土井甲斐守代 鍋嶋紀伊守

一同四日屋敷替并屋布拜領有之

小石川御殿番 = 義濃部權之助

一同十日姫路御目付 中坊長左衛門 三枝弥左衛門

一同十一日兩日亥中刻西ヨリ東へ白気立地震

一同十一日參勤御礼 細川越中守 松平兵部大輔

松平安藝守 伊達遠江守 南部備後守

毛利甲斐守 松浦壹岐守 相馬圖書頭

仙石越前守 伊東大和守 藤堂備前守

黒田伊勢守 大村因幡守 鳴津淡路守

秋月長門守 六郷伊賀守 毛利周防守

鍋嶋攝津守 木下肥後守 池田河内守

青木民部 加藤織部 朽木監物

以後 木下主殿 松平久馬之助 平野右衛門

小出伊勢守 松平肥後守 織田哉前守

松平隠岐守 戸田采女正 松平下総守

堀田伊豆守 戸田能登守 北条左京

松平日向守 石川主殿頭 松平越中守

水野中務少 水野監物 松平内藏頭

松平中務少 諏訪安藝守 土井式部少

板倉伊豫守 三宅備前守 阿部伊豫守

松平兵庫頭 山崎主税介 菅沼織部

松平兵部大輔家臣 本多孫太郎

炎上人寺社へ建立料被下

金千兩 西久保八幡別當普門院

同断 神田明神神主芝崎宮内



御香奠献之上覺

銀廿枚 三千万石以上

同十枚 一千万石以上

同五枚 五百万石以上

同三枚 一百万石以上

同五枚 三十万石以上

同三枚 十万石以上

同三枚或二枚 九千石以下

覺

一 五万石以上 西ノ御香奠献上ノ使者深帷子長

袴ノ朝六時ノ五ノ時ノ内ノ文珠楼通被差

紙ノ中堂ノ被献之受

一 五万石以下 二千石以上 西ノ使者ハ深帷子半

袴ノ朝六時ノ五ノ時ノ内ノ御成沙門ノ振通被

紙ノ中堂ノ被献之受

一 一ヶ所ノ西ノ使者ハ深帷子半袴ノ朝六時ノ五ノ時ノ内ノ

紙ノ中堂ノ被献之受

献上受

右ノ通五月九日可被献上者也

一同十二日 紀伊中納言 綱誠 御本簾中 鶴姫君 去比ヨ

リ 御異例之礼 昨夜丑上刻 逝去 廿八歳 此段於兼間

先中列座 小笠原佐渡守 宮中伺公之面々 被演説

為御機嫌 伺惣出仕 有之 普請 十四日 迄 停止 鳴物ハ

十日 人間 停止

一同十四日 御機嫌 伺惣出仕 紀伊中納言 殿ハ 豊後

守ヲ以御法事 領白銀五千枚 被遣 被仰出覺



一同廿四日 諸役人、御法事前火之本念ヲ入可申由

一同廿五日 井上大和守被申由御法事中八節句御礼

日老中、参候爰無用可仕由

一同廿六日 嚴有院殿廿五回忌万部經開闢 午刻地震

一同廿七日 御步行衆四人為小普請方吟味役

永井喜右衛門組 柴山忠兵衛 加藤右近組 春日井子市郎

兵衛組 北氏新兵衛 箱葉九衛門組 津田宗右衛門

御暇衆 上使 阿部豊 松平備前守

上使 小笠原 松平淡路守 同 土屋相模守 藤堂大学頭

同 秋元但 有馬中務大輔 同 御使番 松平大和守

同 馬守 松平左兵衛佐

脇坂淡路守 松平内匠頭 黒田甲斐守

浅野土佐守 津輕越中守 木下右衛門大夫

金森出雲守 池田丹波守 遠山和泉守

織田山城守 森和泉守 石川近江守

岩城采女 南部右近 関大藏

土方市正 久留嶋帶刀 堀長門守

一柳兵部少 毛利内膳 織田内匠

伊東駿河守 大村筑後守 竹中主膳

伊東叡負 松平備前守家臣 渥美彈正

松平主税頭 酒井雅樂頭 本多能登守

中川因幡守 松平主殿頭 伊達左京亮

酒井左衛門尉 松平加賀守 松平至水

裏上縫殿 堀田兵部 本多兵庫

松平下野守 酒井石見守 堀大和守

鳥居播磨守 植村右衛門佐 松平對馬守  
 三浦壹岐守 板倉伊兵衛守 牧野讚岐守  
 本多下總守 井伊兵部少將 龜井隱岐守  
 上井甲斐守 青山播磨守 板倉周防守  
 内藤紀伊守 久世出雲守 水野隼人正  
 牧野駿河守 真田伊豆守 松平遠江守  
 松平丹波守 小笠原右近將監 松平讃岐守  
 松浦肥前守  
 一同廿八日跡目被仰付  
 夏ノ御借米御張紙出百俵 二付四十三兩  
 一同廿九日御普請御手傳相濟御褒美  
 時服三十 松平大膳大夫 同二十五花飛驒守  
 一五月二日脇坂淡路守次男主馬爰久留嶋帶刀聲養

子被仰付  
 一同五日端午出仕有之御礼無之  
 一同六日上野万部經結願  
 一同七日被物二付上野新二五門御先手加番出ル  
 感念寺前ニテ施行附付ノ非人七千四百六十八人  
 寄非人二千五百二人 一赦ノ者四十一人  
 一同八日巳中刻上野 御参詣御束帶  
 一同九日御法事相濟ニ付惣出仕  
 一同十日本多能登守松平大學頭召之本多中務大輔  
 象督嫡吉十郎ニ賜之  
 昨日御法事御用依相濟ニ稻葉丹後守於御座間 御  
 目見 代吉岡一文字 御用相勤面々御目見  
 御暇上使 秋元但馬守 曼珠院御門跡



一同十一日公家衆御馳走御能御法事役人皆見物  
 聖堂御普請護持院御修覆惣奉行阿部豊後守井上  
 大和守九月豊後守死後秋元但馬守相勤  
 和列三輪山神木二本杉長十四間半太リ一丈三尺  
 三寸廻リ拜殿ヨリ西方廿三間程三有リ去ル六日  
 亥刻一方倒ル此木八間程ノ内朽タル故也其夜風  
 雨少アリ木ノ年數九百年程ニ成由残一方ノ杉長  
 十五間大サ一丈二尺二三寸廻リ右例木山へ掛  
 リ其下ヲ往還イ夕又由  
 一同十三日公家衆御暇殿中面々裝束  
 一同十五日參府御礼 内藤駿河守 朽木伊与守  
 溝口信濃守 秋田信濃守 青山下野守  
 本多隱岐守 内藤能登守

水野監物二丸御普請御手傳岡崎一以奉書被仰遣  
 御普請御手傳相濟御褒美時服十苑賜之衆

一 同十六日吉川勝之助御手傳相濟御褒美時服六拜

一 領勝之助知少在所ニ有 晝夜地震少ニ

一 同十八日鳥居播戸守依願同右近養子ニ被仰付

駿府加番被仰付 新庄主殿 横山數馬 金田子惣右衛門

御手傳家来於御城御褒美被下

松平大膳大夫家来 惣奉行 完戸丹波 副奉行 国司式部

白銀五枚 時服五枚 番頭 栗屋帯力 玉屋右衛門 八

銀三枚 股三枚 用 鷹屋七郎左衛門 留守居 松田治右衛門

二羽織 一時服 普請方 横山勘兵衛 口羽十郎兵衛

留守居 野村勘兵衛

元下 香川太郎兵衛 鮎川作右衛門 目付 三井又左衛門

神村藤左衛門

立花飛驒守家来

白銀三十枚 時服三羽織 惣奉行 戸次教馬 副奉行 立花三太夫 目付 安藤弥三右衛門

元下 岡金九衛門 留守居 山上九左衛門 目付 岡三郎兵衛

銀十枚時服 二羽織一充 山本文左衛門

戸次上総介家来

白銀三十枚 時服三羽織 家老 馬場五郎右衛門 普請方 銀七枚時服 元下 丹生源右衛門

元下 瀬川小兵衛 銀十枚時服 二羽織一充 普請方 川上大之丞 上高 瀬川三郎大夫

稻葉能登守家来

白銀三十枚 時服三羽織 惣奉行 栗屋五郎左衛門 普請方 銀七枚時服 元下 中西權兵衛

井上九七郎 銀十枚時服 二羽織一充 普請方 松田源五郎 宇佐美儀平

加藤遠江守家来

白銀三十枚 時服三羽織 惣奉行 加藤新五左衛門 刻元 銀七枚時服 元下 河田助右衛門

長尾半藏 銀十枚時服 二羽織一充 刻元 寺西平次 加藤平左衛門

一同十九日 晝夜地震

家督御礼 金馬代時服 七金三十枚 本多吉十郎

遺物 御刀 金馬代 金十五百貫 虚堂墨跡 本多中務大輔

一位様 一青莖御香炉 三吉野 御臺所 一青謙御香炉 玉かさ

相列大山不動社堂 曰冬地震 破損二付 修覆料金二

千兩搏木 五千丁賜之

羽列鶴岡酒井左衛門尉 城下當十日夜亥刻出火 翌

十一日卯刻 鎮山町屋十町余 家数六百七 軒内二軒

侍屋布四ヶ所寺

一同廿一日御普請御手傳吉川勝之助家来御褒美  
銀仕枚家老今田伊織同十枚家老並挂勅右衛門

一同廿五日御番入十人御書院番十一人大御番  
今日聖堂歛始御手傳伊達遠江守家来役人

家老 神尾帶刀中老小原三右衛門用人萩森彦右衛門

星弥一兵衛 野矢左右衛門 高間八太夫

内藤三右衛門 船山武九衛門 奥津勘兵衛

豊嶋伴右衛門

一同廿六日御役替

御廣敷番頭 御納戸組頭ヨリ 鈴木安右衛門

御天守番頭 久津見又助組頭 飯室三郎兵衛

道奉行 阿部志广守組 荒川八郎兵衛

御葺寄奉行 三枝能登守組 加藤八郎右衛門

一同廿八日所替被仰付

播州姫路 榊原式部大輔

越後村上 本多吉十郎

一同廿九日御手傳被仰付 永井日向守

松平采女正 小出伊勢守 松平因幡守 有馬大吉

跡目被仰付

一同晦日願之通被仰付

隠居 松平出羽守 家督 同民部大輔

二条御藏奉行本多十右衛門跡 能勢平右衛門御勘定方

一六月三日今度御法事二付日光御門主依願被召出

今日登城輩 中根主税 小出隠岐守

笹山彦之丞 飯田次郎右衛門

大坂御目付代 馬場宮内 渥美九郎兵衛

一同四日 縁組 正親町大納言女 松平讚政守

一同七日 御役御免 御先手 有馬宮内

一同十日 御役替 御先手宮内跡 小十人頭 山本七兵衛

大坂御舟手 民部跡 小十人頭 山本七兵衛

小十人頭 七兵衛跡 松平孫太夫

中奥御番 凡茂勘左衛門

跡目ノ御礼有之 中根半十郎

一同十一日 小普請組ヨリ百廿人番入

御小姓組 五十四人 御書院番 三十三人

新御番 十四人 大御番 十四人

小十人 五人

一同十八日 御城廻御普請奉行被仰付

御書院番 松平近江守組 長谷川半四郎 御小姓組 松平石見守組 稻生七郎右衛門

一同廿一日 縁組被仰付 轉法輪前右大臣女 井伊掃部頭

松平大学頭女 小笠原津八郎 阿部飛騨守女 奥平熊太郎

牧野讚政守女 酒井監物 五方市正孫女 酒井玄蕃

堀田豊前守女 九女子 高木民部 松前伊豆守養女 酒井喜右衛門

彦坂九兵衛女 石河伊織 酒依清左衛門女 市左三子 石原数馬

御役替 御納戸組頭 佐野善右衛門

御步行組頭 土改内 記組見 小林九郎兵衛

小十人組頭 又又 助組見 小林新六郎

一同廿五日 御目付火之元 改御免御褒美賜之

多門傳八郎 長田甚左衛門

一同廿七日 跡目隠居家督被仰付

一同廿八日 家督御礼

真御太刀 守家代金 百五十貫 金五十枚 綿百把 松平出羽守

一同廿九日 於評定所 追放 近藤備中 八木權平

一同晦日 村上引渡 溝口源兵衛 後守組 近藤十兵衛

桐之間 御番五人 被仰付

一 七月朔日 御普請 御手傳 相濟 御褒義 并 国元 一 初

御暇 松平右衛門督 丹羽左京大夫

桐ノ間 御番四人 被仰付

一同二日 日光 孟蘭盆 御名代 三枝日向守

日光御門 跡依御願 被召出 由松平土佐守 一 被仰渡

山内九郎太郎

一同三日 松平右衛門督 家来御手傳 相濟 御褒義

銀五枚 時 鷄殿和泉 堀場主殿 加藤數馬

同廿五枚 時 鷄殿刑部

岩越官兵衛 吉田平馬 牧軍平

寺西久之丞 藤田甚左衛門

銀十枚 時 三浦藤左衛門 河毛次郎兵衛

服二羽 織 猶山權八 道家子一左衛門

丹羽左京大夫 家来御褒義

銀三枚 時 丹羽圖書 内藤新五左衛門

丹羽一学 上田伊織

黑田傳大夫 佐野喜兵衛

鈴木七郎兵衛 味岡繁右衛門 木本市兵衛

暑氣 御尋御側 袈ヲ以進物 被遣

御三家 甲府殿 日光御門主

頃日ノ大雨 了利根川 満水 猿ノ夕ノ堤 三日之夜

押切葛西 通龜井 戸本所 深川 迄 洪水 床ノ上 六七尺











御徒頭

土屋頼母跡

牧野傳藏

富士見番頭

細田三左

織部

建部三四郎

一同廿五日 増山對馬守

依願内分

千俵

同大學

今日御仕置

獄門

本郷六町目

伊勢屋七兵衛

斬罪

小普請

溝口右近

旨

井出藤九郎

右左政井戸對馬守到也似也金侶了也

後之上如右借方之者居之謀利以之也

如此

去五月廿七日辰半時二条御城御本凡御番所

戸田玉佐守組 乱心窪田三左衛門

深手負

多門市郎左衛門

手負

金田小兵衛

一同廿八日御役替

前田孫八郎跡

近藤源兵衛

御徒頭

鳴田十兵衛跡

丹羽權兵衛

一同廿九日跡目

被仰付

九月朔日日光御名代 大沢越中守代 宮原長門守

御祭礼奉行

土井式部少代

井上筑後守

京極對馬守代 織田能登守

駿府在番御暇

松平式部少輔

酒井大學同組中

并加番三人御暇

一同十五日 初子御礼安藝守 諏訪小太郎甲斐守 京極修理

一同十六日 御老中列座小笠原佐渡守申渡

明十七日 御清之後御社參殊久野外迂宮二付未

々迄念入申付間違無之様可仕旨在合面々一被違

一同十七日 阿部豊後守卒去十八日ヨリ廿日迄鳴物

停止普請ハ不苦同十九日伺御機嫌詰衆諸役人



御小姓組与頭 近藤源兵衛跡 前田半右衛門  
一同梅日御役替 書替 豊原九介菅浪助右衛門

御林奉行 御右衛門跡 小出加兵衛  
十月朔日御役替 若羊寄 永井伊豆守

寺社奉行 伊豆三宅備前守  
御留守居 近藤備前守跡 保田越前守

江戸町奉行 越前守跡 大坂松野河内守  
同日於營中御勘定奉行中山出雲守御目付久留

十左衛門久松忠次郎列座諸役人一相渡書付

去冬より河角より御物入多き事ありて  
故御切米又より御拂方被り申上り  
此之より申上り申上り申上り

金匱上御積り各々倉庫に於て  
取物又より御拂方被り申上り  
此之より申上り申上り申上り  
考す申上り申上り申上り  
名長御積り申上り申上り  
申上り申上り申上り  
右御書付申上り申上り  
右京道より中山出雲守久留  
十左衛門久松忠次  
御右四人より内一書付  
不承あり申上り  
一同六日三九  
御成御口切御茶被進  
大番組頭 丸毛五郎兵衛跡 南条七十郎

一 同七日 依願 御役 御免 仙洞 附 山中丹波守

一 同 御役 被仰付 間七十 御訴訟 申三 御加增 五

百石 被召上

御鑓 奉行 衆被召之 向後 千人 組頭 三人 同心 三百人

宛 江戸 二 詰 廿七 候 様 二 被仰付

一 同 十日 風立 候 間 火ノ元 念入 候 様 二 老中 被仰渡

屋布 替 豐後 守 屋布 御成 殿 飛 秋元 但馬 守 一

但馬 守 屋布 本多 伯耆 守 伯耆 守 屋布 永井 伊豆 守 一

伊豆 守 屋布 向屋 阿部 飛 驒 守 一 被下

御役 替 寺 社 奉行 久世 大和 守

葵者 番 安藤 長門 守 土井 式部 少輔

仙洞 附 山中 丹波 守 跡 山田 三太夫

御持 弓 頭 前田 孫八 郎 跡 柘植 五太夫

御先手 柘植 五太夫 跡 佐久 間 小左 衛門

御徒 頭 戶田 喜兵衛 跡 大岡 市十郎

小十人 頭 前田 半右衛門 跡 戶田 三郎 兵衛

一 同 十一日 久野 御用 被仰付 近日 祭足 稻垣 對馬 守

同 御宮 御造 菅 御普請 奉行 松平 傳兵衛

井上 大和 守 願通 酒井 式部 子 繁之助 養子 二 被仰付

越後 村上 御目 付代 久永 内記 松平 壺 大久保 伊左 工門

一 同 十三日 御役 屋布 方角 二 日 火消 組子 力 同心 共

五組 減少 御役 御免 本多 彌兵衛 本多 修理

能勢 治 左衛門 小出 主計 関 伊織

修理 茂 八 屋布 依無之 役 屋布 一 内立 家 共 相志 二 被

一 同 十五日 於 御座 間 久野 一 御暇 稻垣 對馬 守

於御座間御役御礼 永井伊豆守

於御白書院御役御礼 各銀馬代 又世讚岐守

安藤長門守 三宅備前守 土井山城守

又野御用被仰付諸太夫 叙任

松平傳兵衛 安房 曲瀨伊左工門 越前守

御目付衆ヨリ 詰番ノ衆中ハ火用心ノ差被申渡

火消三人被仰付候定火消之通可被相勤候三人ノ

内一人宛非番可被致由

板倉伊豫守 池田内匠 市橋外記

一同廿一日 利根川荒川御普請御手傳被仰付

松平土佐守 佐竹源次郎 松平隼人正

相良志广守 一同廿二日 宮中詰番ノ面々ハ大目付衆被申老中ハ

未明ヨリ被參門ノ明ルヲ待候衆有之由寒氣ノ時

分ニモ候間明ク六過ヨリ被參候様ニ老中被仰由

新御番ニ入 米津周防守組ヨリ 内藤助之進

依願御役御免 小十人杉浦弥市郎組 蜂屋十郎右衛門

一同廿三日 跡目被仰付

一同廿七日 依願御役御免 御先手 猪子龙太夫

木下肥後守 頼通同名織部 養子被仰付

一同廿八日 於御前御一字 安御腰物持領

松平兵部大輔 同大炊頭

松平修理太夫 吉貴象督 三枝能登守 跡 松平近江守

御役替 大番頭 御書院番頭 近江守 跡 酒井主馬

御先手 御書院番頭 近江守 跡 酒井主馬 加々仇次郎 右衛門

御先手 御書院番頭 近江守 跡 酒井主馬 加々仇次郎 右衛門

御徒頭

山田三太夫跡

井戸新兵衛

一同廿九日

松平薩广守跡式同修理太夫被仰付

於相摸

十一月朔日

御役替

火消

酒井主馬跡  
中川番ヨリ

皆川宮内

御小姓組子頭

加々次郎右工門  
跡御徒頭ヨリ

牧野八太夫

豊後守跡式被仰付

家督十万石

阿部飛騨守

新田五千石 同次郎七

飛騨守御免為御詰衆於松平羨濃守亭申渡

御普請御手傳相湊御褒義時服拜領

松平兵部太輔 酒井勅負佐 戸田能登守

御先手方 向後組 同心羽織頭 紋銘々 付不

申候様 但存寄追テ可申上由

一同七日 箱垣對馬守昨六日 久野ヨリ 帰府登城

聖堂就御造宮為諸大夫 河宮所左衛門 任播戸守

御手傳相湊 松平兵部大夫 家来御褒義 高屋善右衛門

銀五斗 時服五羽織 松平庄兵衛 銀五斗 時服四羽織

銀二羽織 大谷助六 天方五郎左衛門

中川木工之助 加賀藤九衛門 大高金太夫

銀十枚 時服二羽織 井上半太夫 上月八郎左衛門

原木戈兵衛 今村段右衛門 松原善左衛門

堀十兵衛

同新 酒井勅負佐家来 戸田能登守家来御褒義

一同十一日 御象門方登城於奥御雜子有之

奥御詰被仰付 松平采女正

御目付長崎半左衛門御用 有石列 可被遣由

一 去年御勘定所ヨリ 出ル書件書落ス故爰ニ記ス

一、 災後... 川筋の堤川除  
 一、 破損... 大破危見一  
 一、 災後... 入申...  
 一、 味し上四役... 場取...  
 一、 小あひて川... 記普信場...  
 一、 粉等... 堤...  
 一、 屋へ可... 右書...  
 一、 是れ彼... 役人  
 一、 在り... 申...  
 一、 没入... 例...  
 一、 或... 入...

一、 是地... 自普信...  
 一、 是れ... 自普信...  
 一、 是れ... 自普信...  
 一、 是れ... 自普信...

束三月

一同十三日 元服御礼  
 真御太刀 備前国 光代百貫 金廿枚 綿二百把 松平出羽守  
 継目御礼  
 真御太刀 一文字 代百貫 銀千枚 時服五十 改薩上寺 松平修理大夫  
 金三十枚 時服二十 阿部飛驒守  
 新田分地御礼 金三枚 阿部次郎七  
 養子御礼 銀馬代時服三 肥後寺養子 木下織部  
 継目御礼 金三枚 溝口式部

松平修理太夫家来以銀馬代時服五御礼

鴻津周防同内匠同大藏同勘解由

同帶刀入来院至馬平田清右衛門

家村平八相良權太夫

阿部飛驒守家来以銀馬代御礼

有田内記加藤市之丞鈴木守右衛門

同十五日於白書院御一享拜領之御礼

真御太刀信國代金馬代綿二百把松平兵部大輔

御役替大坂町奉行代青江恒次金馬代時服十同大炊頭

御步行頭寄牧野八太夫跡御河内守跡大久保甚兵衛

御納戸頭片松崎善兵衛跡大番組頭新見彦四郎

一同廿三日上野御門跡御成今年初丁也

一同廿五日護持院御成

表門加番保科至稅裏門加番蔭山教馬

大成殿御遷座今夜寅半時揃日冬十一月廿九日燒

父母祥月忌日之者忌服之者明六時ヨリ同座仕

間敷候熨斗目麻上下致精進可申事

仰高門加番成瀬瀧右衛門

一同廿六日和田倉御屋布奉行被仰付御草旨奉行跡部茂兵衛

一同廿八日尾張宰相殿昨日被取前髪今日登城御

對顔被任中納言賜御腰物

初丁御礼德政寺子大久保傳吉郎

御普請御手傳相湊甘御褒美被下時服十宛

伊達遠江守水野監物内藤駿河守



御城廻御普請相濟二付御褒美

金五枚時服  
三羽織一宛

大嶋肥前守 松平安房守

甲斐庄喜右衛門 水野權十郎 布施長門守

金三枚時服二 御番方奉行中 小普請方

一同日御目付久留十九衛門被相渡書付

取<sub>レ</sub>御番方以没取<sub>レ</sub>其後<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>御番方

多<sub>レ</sub>一<sub>レ</sub>諸名初用<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>也<sub>レ</sub>所<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>向後<sub>レ</sub>其止<sub>レ</sub>自<sub>レ</sub>方<sub>レ</sub>り

抄<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>方<sub>レ</sub>り

惣<sub>レ</sub>御番方御普請

一 諸名請<sub>レ</sub>方御普請御普請御手傳相濟御褒美時服

一同<sub>レ</sub>御番方御普請御普請御手傳相濟御褒美時服

以<sub>レ</sub>又<sub>レ</sub>同<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>御普請御普請御手傳相濟御褒美時服

一 同<sub>レ</sub>御番方御普請御普請御手傳相濟御褒美時服

一 若物地練坊志<sub>レ</sub>は<sub>レ</sub>申<sub>レ</sub>十一月 白<sub>レ</sub>物<sub>レ</sub>地<sub>レ</sub>練<sub>レ</sub>坊<sub>レ</sub>志<sub>レ</sub>は<sub>レ</sub>申<sub>レ</sub>十一月

一同<sub>レ</sub>廿九日大和川筋御普請御手傳相濟御褒美時服

十宛賜之<sub>レ</sub> 名代内 膳正 岡部義濃守 名代能 登守 織田山城守

名代志 松平左兵衛佐 名代中根 大隅守 植村右衛門佐

名代兵 九鬼大和守 名代中根 大隅守 植村右衛門佐

増上寺方丈依願隱居傳通院後住被仰付

一同晦日桐間御番被仰付 酒井下總守組 大久保六右工門

内藤越前守組 小野内記 伊次播磨守組 菅沼二郎右工門

板倉筑後守組 田村又四郎 米津周防守組 井手八之助

能勢市十郎組 折井九郎三郎 御腰物方 神尾五郎三郎

日光御門主甲府殿御三家以上使八代蜜柑被遣



松平義濃守 本多伯耆守 箱垣對馬守

申刻御屋敷ヨリ西丸へ入御 御簾中ニ同前

明六日ヨリ御小姓組一組御徒一組宛西丸可勤

西丸中仕切御門御子鉄炮及一組宛勤番可仕由也

一同六日昨日依御觸今日為御祝儀御三家方諸大名

諸役人熨斗目麻上下ニテ登城

西丸へ出仕之儀ハ可任御差圖之由

明七日松平義濃守松平右京大夫老中若老中へ諸

役人御祝儀ニ段々不込合様ニ可參由目付中被

申渡

明七日明六時ヨリ御左右有之迄服改可申由

一同七日已下刻中納言君御本丸へ入御午刻過

兩上様三丸へ入御 中納言君直ニ西丸へ歸御

日光へ御暇 松平肥後守 榊原式部大輔

京都へ御使之用意可仕由 大沢越中守

紀列徳川對山殿へ上使被遣 番者松平兵庫頭

一同八日來十八日又野辻宮ニ付被遣御暇

去二日大坂御目付代被仰付 時服五 箱垣對馬守

戸川内藏助 村頼伊左衛門

一同九日已刻 中納言君御本丸入御午下刻 歸御

御臺所へ御對顔御腰物三枚弘代金被進之

於御座間御暇 金廿枚時服六羽織 大沢越中守

於芙蓉間御暇 同廿枚同五羽織 松平兵庫頭

西丸へ御書院番御小姓組番頭組共四組宛被為附

西丸御小姓御小納戸官位被仰付

御廊下番頭 役料千俵被下 間部宮内 越前守  
御書院番頭 格右同断 町野縫殿 筑後守  
御小姓組 稻生九門 守河波 曲刈主計 下野  
間部右衛門 守隱岐 町野隼人 村上主殿  
間部圖書 一柳勘之丞 村上友之進  
親見多官 本目千弥 酒井吉右衛門  
布衣 長屋長五郎 白岩八右衛門 櫻井源右衛門  
森川与右衛門 村上源左衛門 五十嵐市十郎  
水野新八郎 右御小納戸 衆役料三百俵宛  
一同十一日 御加増御礼 金十枚 秋元但馬守  
任官御礼 真御太刀 五台包代 貫百 金十枚時服世尾張中納言殿  
金馬代 本多伯耆守

於御白書院一官位被仰付 少將 松平薩广守  
侍從 松平大炊頭 上同 松平隱岐守  
四品 松平下總守 上同 酒井靱負佐  
諸大夫 真田藏人 佐渡守 小笠原津八郎 山城守  
周防守 土井宮内 出雲 能登守 稻葉彦六郎 飛騨守  
駿河守 内藤定之助 酒井主馬 紀伊守  
川勝權之助 能登 大久保甚兵衛 大隅  
布衣 水戸殿家来 寛助太夫  
法眼 中村玄悦 吉田一庵 小嶋昌怡  
大御番組頭 新見彦四郎 跡二石 長田治左衛門  
入覺 御加増二百俵御役料片桐主膳正組

一今度御養君被仰定此候在國在取心面より

一 八為御禮之使者被呈紙献上物不及以書使名  
 人不被呈紙  
 二分殿之存任汝汝第一日 兩上極、御礼之旨  
 年始之通御方刀弓代斗御之旨 但詔石又且  
 亦亦二千石以上法作法眼  
 亦亦石以上之 隱居御方刀 弓代御之旨 以便不可相  
 布納受山御 御方刀 弓代御之旨 以便不可相  
 一 御礼之旨直無將衣大故布衣空官之西、長袴若  
 用之受  
 一 在國在而、而、名兼以受、以便使者献上物可  
 被仕、 兩上極、使者一人、之、之、之、  
 御禮一位極、御臺極、御臺中極、献上物  
 共御禮三十万石以上、 一種千足

一 十万石以上、 一種五百足  
 一 一万石以上、 一種三百足  
 右之通仕三日二九迄以使者献上之旨  
 一 御女中様、隱居部屋住、献上物不及受  
 以上

一同十二日 御加増 千石 御小姓組 川勝能登守  
 五百石 大坂町 大久保大隅守 二百俵 御目 丸茂五郎兵衛  
 新 知 三百俵 大関主税 二百俵 針 須广良仙  
 御褒美 金五枚時服 四羽織 萩原近江守  
 金三枚時服 三 坪内源五郎 火方 佐野子八郎  
 羽織 盜賊方 坪内源五郎  
 金二枚時服 二 松下左太夫 設樂善左衛門  
 羽織 屋布改 間宮敷貞  
 赤井六兵衛 朽木内記  
 本所 坪内角左衛門  
 奉行

一同十三日櫻田御殿衆

戸田周防守 越智下総守

藤枝若狭守

山口兵庫 津田外記 岡部源太左衛門

右六人御本丸寄合 先中列座 后被仰付

一同十五日午中刻 中納言君御本丸渡御未刻帰御

覚

一兩上様へ御礼被仰付 付御一門方始表向万

一同石以上父子共無官 元七年始 登城之分高

家衆詰衆詰衆並父子共登城之分諸番頭諸物頭

諸役人年始 御礼仕分可存少

一市小此領而之院 与新而南市腰物方知戸方大

市為小十人 又年始 所知小役人等可存少

古来古一日五半時揃り 之段可被在解小御上

物装束 之段 家衆 共連 之段 可被在解小御上

又 兩上様へ御礼 之段 之段 西丸へ及

登城 之段 之段 右系之段 之段 被廻り

不及 之段 之段 之段 之段

一 九一日 兩上様へ 在江戸之面へ 融之太刀目

録上付 之段 之段 二丸門 市持 之段

之段 一人 之段 可被融 之段 之段 之段 之段

一同前遊

一 兩上様へ 万石以下 之段 之段 之段 之段

一日 之段 之段 之段 之段 之段 之段 之段

若一人 之段 之段 之段 之段 之段 之段 之段

前之段

一廿二日 湯女中極く在屋之西、被髪之由  
後後物其情より、付之、内ニ丸湯の湯持と當  
所之使名一人、之被髪之由、  
右使名、髪半目半袴、  
と遊了、湯丸、  
十二月

八重姫君新御殿へ御後徒ニ付、昨日ヨリ、湯本丸へ  
被為入之綱、  
一同十六日申渡

来止一日、無官又、  
略く通素袍可為、  
但、三月ニ湯礼仕、  
上以下、  
十二月十六日

一同十七日四時紅葉山御宮へ行列ニテ被為成

中納言君ハ西丸ヨリ直ニ行列ニテ被為成、  
之御社参相濟即刻還御

一同十八日於中之間在合之面々へ、  
来止一日御礼之節込合可申候間、  
候且、  
連由

一同十九日書付二通出、  
明後止一日出仕之西へ、  
年始、  
十二月十九日

来止一日、  
湯女中極く在屋之西、  
被髪之由、  
湯丸、  
十二月十六日

右使名、  
湯丸、  
十二月十六日

被為入之綱、  
湯丸、  
十二月十六日

山形石刀... 松平義濃守都合十五万石 = 成甲府ノ御

十二月十九日

一同廿一日松平義濃守都合十五万石 = 成甲府ノ御

城被下

中納言君御本丸一渡御惣御礼一同 = 被為受

所々年始之通也加番中ノ御門高林弥市郎 堀重

御門赤井七郎兵衛 御臺所口牟礼遠江守

一同廿二日四半時一兩上様三丸一渡御中納言君

小即刻蓮池通 還御

西丸桐間番頭任諸大夫 松平主馬 修理亮

鈴木西郎左衛門 能登 岡部庄九郎 和泉守

一同組頭布衣被仰付 末高半左衛門

石川織部 千葉兵部 戸田助太夫 菅沼圖書

建部甚右衛門 羽太清左衛門 折井五郎七

御小姓焼火間ヨリ 石川助之進

御小納戸相間御番 鈴木百助 細井藤右衛門

一同廿四日紅葉山三御佛殿 兩上様行列御参詣

一同廿五日川越一所替 本高 秋元但馬守

久能御普請相濟御褒義 時服十 太田堪津守

御腰物 備前兼光代 稻垣對馬守

一同廿六日叙四品 黒田豊前守

一万石御加増 松平右京大夫

西丸山里湯門只今近湯之守 被知ハ答ノ中謔ヲ被知

後西丸湯湯身長方ハ被知ハ答ノ中謔ヲ被知

湯下西丸ハ中仕在ハ答ノ西丸大少前少後中守



屋布北角永井伊賀守裏門前松平主計頭屋敷前  
右三ヶ所下馬立候間可被得其旨

一 本年始 西九 下登 城之西 当日西九

申之儀 昨問 西九 乃 予 仲 西九 納戸 納之

於西九 詣 西九 者 者 乃 多 追 云 云

一 本年 西九 西九 日 西九 西九 西九 西九

一 本年 西九 西九 西九 西九 西九 西九

一 本年 西九 西九 西九 西九 西九 西九

一 本年 西九 西九 西九 西九 西九 西九

一 本年 西九 西九 西九 西九 西九 西九

右系 西九 西九 西九 西九 西九 西九

一 寺社 西九 西九 西九 西九 西九 西九

國寺 根生院 常 西九 祈禱 西九 各別 西九 西九

一 町人 諸職人 西九 西九 西九 西九 西九 西九

一 町人 諸職人 西九 西九 西九 西九 西九 西九

一 町人 諸職人 西九 西九 西九 西九 西九 西九

一 町人 諸職人 西九 西九 西九 西九 西九 西九

被申 西九 西九 西九 西九 西九 西九

十二月

御腰物 持領 本多伯耆守

一同 廿七日 西九 堀重 廊門 的場 曲輪 元日 二日 御先手

一 同 廿八日 川越 引渡 小田切土佐寺組 柴田三左衛門

一 同 岡部庄 左衛門 小田切土佐寺組 柴田三左衛門

一 同 岡部庄 左衛門 小田切土佐寺組 柴田三左衛門



